

# シンプルな用語集形式 UTX

## UTX用語集形式とは?

AAMTが策定したシンプルな用語集形式

専門用語を管理する用語集の作り方のルール

Excelなどでも編集できるタブ区切り形式

## UTXの利点

専門用語を含む用語集を簡単に作成・管理できる

共通の形式なので用語データを共有・再利用しやすい

人間翻訳と機械翻訳を効率よく正確にできる

## UTX 用語集形式サンプル

用語集全体についての情報（作成日、使用許諾など）			
#UTX 1.11; en-US/ja; 2016-04-01; copyright: AAMT (2014); license: CC BY 4.0			
#src	tgt	src:pos	term status
Asia-Pacific Association for Machine Translation	アジア太平洋機械翻訳協会	properNoun	approved
contributor	用語提出者	noun	provisional
optional	省略可能	adjective	approved
optional	オプション	adjective	forbidden
merge	統合する	verb	approved
merge	マージする	verb	forbidden
unidirectional	一方向	adjective	approved
monodirectional	一方向	adjective	non-standard
<b>原語</b>	<b>訳語</b>	<b>品詞</b>	<b>用語ステータス</b> (省略可)

安心して使える用語か、禁止用語か区別できる

## 概要

UTX(Universal Terminology eXchange)とは、AAMT(アジア太平洋機械翻訳協会)が策定した、用語集形式です。UTX用語集は、翻訳者のための用語集として使えることに加え、各種形式に変換して、さまざまな翻訳支援ツールで使えます。特に翻訳ソフトの用語データ(ユーザー辞書)として使うことで、翻訳精度を大きく向上できます。ユーザー視点から、**シンプルで作りやすく、使いやすい**ことを目指しています。

AAMTは、機械翻訳の研究開発者、製造販売者、利用者から構成される団体で、メンバーはボランティアです。

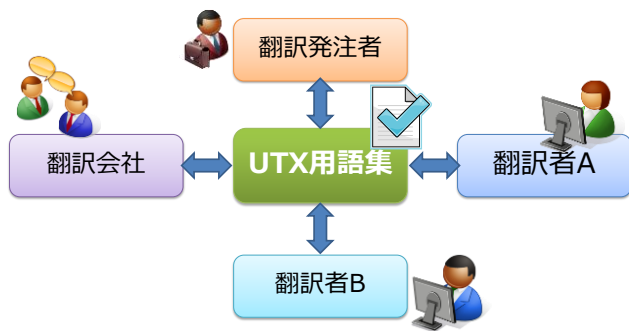
## なぜ翻訳で用語集が必要か

企業・大学・組織での専門的な翻訳では、用語集がないと、専門用語を正しく訳せません。初期段階で用語集をしっかり作れば、同じ言葉を何度も調べずに済み、翻訳の費用と労力を減らせます。用語集は、訳語統一や誤訳チェックにも役立ちます。高品質な翻訳を正確に行うには、用語集は必須です。

## なぜUTXを使うといいのか

UTXを使えば、用語集を簡単に作成・共有・再利用して、翻訳の質を向上できます。「翻訳ソフトは変な訳ばかり出す」と思われていませんか？ その理由は、語句をどう訳すべきかという**翻**

## 共通規格なのでユーザー間で用語集を共有・再利用しやすい



訳知識が不足しているからです。まず、翻訳知識をUTX用語集として蓄積し、それをユーザー辞書に変換することで、翻訳ソフトの翻訳精度を大きく改善できます。

Excelやテキストファイルでも、各項目の形式が共通化されていないと、共有や再利用は困難です。さまざまな用語集がインターネットで公開されていますが、実際にはすぐに活用できず、手間のかかる修正と調整が必要です。しかし、UTXのような標準規格に沿った形式であれば、さまざまなツールで用語集を広く共有し、すばやく再利用できるようになります。UTXを経由することで、異なる用語集形式の変換を橋渡しできます。

## だれが作り、使うのか

主に翻訳者や翻訳ソフトのユーザーが、作り、使うことを想定しています。UTX用語集は、原語、訳語、品詞など、最低限の情報のみでも作れます。必要な情報があれば追加できます。

## どのような分野で使うのか

IT、医療、法律、工学など、専門用語が多い翻訳であれば、どのような分野でも使えます。

## どんな語を含むのか

UTX用語集は、製品・部品名、病名、薬品名、法律名など、**特定分野の専門用語**や、人名、地名、施設名などの**固有名詞**を含みます。一般的な語は含めません。

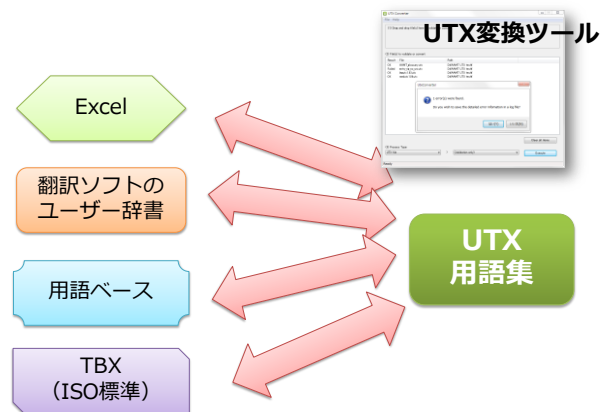
## どのような状況で作るのか

1. 用語集をゼロから作成する場合
2. 多人数による翻訳で発生する訳語を収集しまとめる場合
3. 各種用語データ間変換で、中間変換形式として使う場合

## どうやって作るのか・使うのか

UTX用語集は、Excelなどの表計算ソフトやテキストエディターで簡単に作成・編集・表示できます。翻訳メモリーツールOmegaT、用語ツールApSIC Xbenchなどのツールでは、UTXをほぼそのまま使えます。

## UTXと各種形式の相互変換



また、各種形式とUTX形式の相互変換を行うことで、各種ツールで使用できます。変換ツールとして、公式UTX変換ツールやGlossary Converterがあります。公式UTX変換ツールでは、UTXと、ATLAS、The翻訳、PC-TranserなどTranserシリーズの間で相互変換ができます。

詳細:<<http://www.aamt.info/japanese/utx/tools.htm>>

## どこで使われているのか

UTXは、企業で使われている他、特許庁で機械翻訳辞書(220万語)が作成されています。今後、特許庁の日英用語データ(10万語)をUTX形式で公開予定です。

## 費用はかかる？ より詳しく知りたい

UTX仕様書、サンプル用語集、変換ツールは、無料でダウンロードして使用できます。UTX仕様に基づいて、どなたでも自由にUTX用語集を作成・公開・共有できます。「用語集を作りたい、用語データを活用したい」とお考えの組織や企業の方は、ご連絡いただければアドバイスを差し上げられます。

AAMT(アジア太平洋機械翻訳協会)機械翻訳課題調査委員会 共有化・標準化ワーキンググループ

<http://www.aamt.info/japanese/utx/>

問い合わせ先: [aamt-info@aamt.info](mailto:aamt-info@aamt.info)

## メンバー(順不同)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 山本 ゆうじ(リーダー) | 秋桜舎             |
| 村田 稔樹        | 沖電気工業株式会社       |
| Francis Bond | 南洋理工大学(シンガポール)  |
| 大倉 清司        | 株式会社富士通研究所      |
| 加藤マイケル孝仁     | ジャパニーズ・グレイツ株式会社 |
| 秋元 圭         | 合同会社ことばや        |
| 高橋 博之        | 株式会社クロスランゲージ    |
| 亀谷 展         | 株式会社サン・フレア      |

2017年5月版

免責事項: <http://www.aamt.info/japanese/utx/#disclaimer>